

持続可能社会の実現に向けて

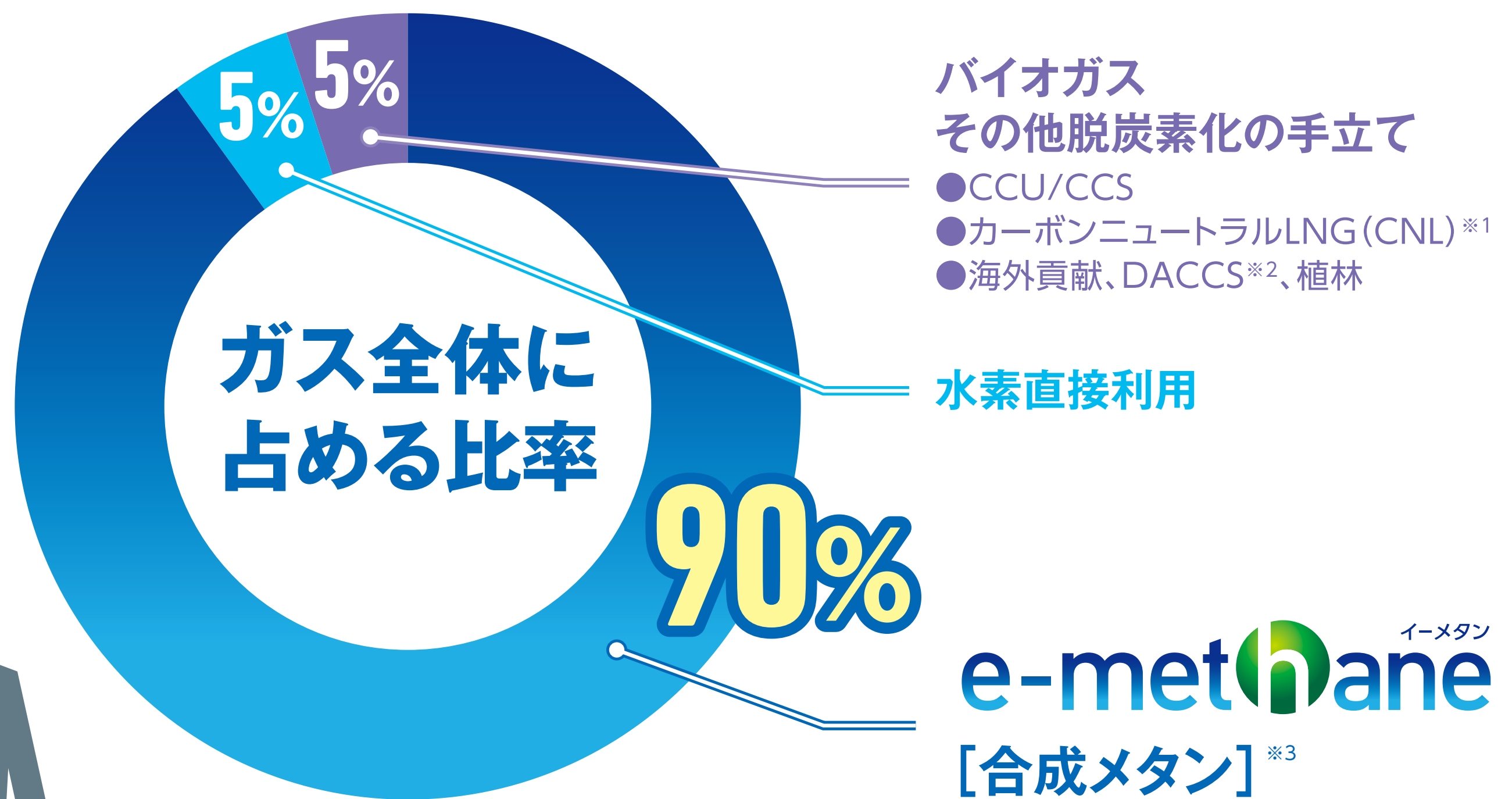
～未来を救う都市ガスのカーボンニュートラル化～

2050年、CO₂排出量を実質ゼロにすることが目標

カーボンニュートラルとは二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出を全体として実質ゼロにすることです。都市ガスのカーボンニュートラル化はすでに始まっています。その名も「e-methane(イーメタン)」です。

2050年に向けた ガスのカーボン ニュートラル化の目標

しかも、既存のガス管を
そのまま使用できるので
経済的負担を
減らすことができます！



※1:天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを森林の再生支援などによるCO₂削減分で相殺したLNG(液化天然ガス)。※2:Direct Air Carbon Capture with Storage(CO₂の直接回収・貯留技術)。※3:脱炭素製造された水素とCO₂を合成したメタン(合成メタン、カーボンニュートラルメタンともいう)。◎グラフの数値はイノベーションが順調に進んだ場合の到達点の一例を示すもの。◎水素やCO₂等は政策等と連動し、経済的・物理的にアクセス可能であるという前提。

新しい都市ガス「e-methane^{イーメタン}」

未来の都市ガス(CH₄:メタンが主成分)は、再生可能エネルギー等から作った水素に回収したCO₂を合成して作ります。

